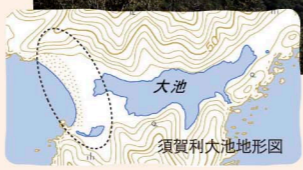


がいなもんじゃ熊野 海跡湖を旅する

三重県南部の熊野地域およびその北の南伊勢地域には、海岸線と並行して池(湖)が点在する地形が見られます。それらの池は海からわずか数十mの距離にあり、不思議なことにすべて淡水でできています。さて、この池の正体、これは「海跡湖」と呼ばれる地形で、何千年何万年というとても長く長い年月をかけて、自然の力により形成されたものです。その自然の力というものは「海流」で、小さな入り江(湾)の入り口が、潮の流れにより砂や礫が運ばれて堆積し、せき止められてできた池です。かつてここが入り江であったことがわかる手掛かりとして、国土地理院発行の地形図を見れば納得がいくでしょう。

さて、近年では自然科学の分野で注目される海跡湖。ハマナツメなどの貴重な樹木が生育し、さらに湖底には過去の大津波の堆積物が存在するなど、様々な視点からメスが入れられ、解き明かされています。当センターでは過去に何度か海跡湖を探訪するツアーを開催し、その魅力を多くの人に伝えてきました。かけがえのない地域の財産を一人でも多くの人に知っていただくために、今後も役割を果たしていきたいと考えています。



川端守 センター長の

ひとりごと

NO.3

すえ おきねがい 据置願のこと



現在の八鬼山荒神堂

「据え置き」願いとは、今そこにあるものを、手を加えないで、そのままの状態ですごして欲しいという願のことである。例えば江戸幕府が倒れ、明治の世になった時、伊勢路の馬越峠には岩舟地藏堂が、八鬼山には荒神堂が建ち、岩舟地藏尊や三宝大荒神本尊が旅人たちを迎えていた。

明治新政府の宗教政策の基本は神仏分離政策であった。慶応4(1868)年の3月11日に出された「神祇事務局より諸社への達」、同28日の「太政官達」等によって、神社等を僧侶等が管理することの禁止、神号、神体から仏教色を一掃することが強力にすすめられた。流れとしては廃仏毀釈や廃寺、廃仏の流れが急速に強まった。

慶応4年4月1日、社人、樹下茂国を先頭に神官や坂本の村民などが襲った延暦寺の境内社日吉神社のできごと、同4月に始まった興福寺僧侶の集団逃走。これを見た民衆は、仏像、仏具を破壊する集団と時代の流れに驚愕したに違いない。

馬越峠では茶屋世古平兵衛の「据置願」、八鬼山荒神堂の修験者岩本右京の「据置願」、いずれも御堂、仏像の据置きを願ったものである。岩本右京の願いは神職、東伊織を頼ってのものであったから、受理されたのか。世古平兵衛の願いが聞き届けられず、岩舟地藏は麓の尾鷲へと流浪することになる。二通の願書は、それぞれの民家に残ったが結果を知らせる通知についてはお目にかかったことはない。好事家の調査に期待する。

お知らせ 公式YouTubeチャンネルを開設しました

現在開催中の企画展、過去に開催した企画展や古道の紹介など、次々配信中です。ぜひご覧ください!!



LINEともだち募集中! LINE@

句のイベント情報をお伝えするLINE配信にぜひ登録ください。LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン>[QRコード]をタップして、コードリーダーでスキャンしてください。



センター敷地内「夢古道おわせ」

お母ちゃんのランチバイキング
営業時間 11:00~14:00
料金 中学生以上 1,400円
小学生以上 700円
4歳~小学生 300円
4歳未満 無料
65歳以上 1,200円

みえ尾鷲海洋深層水「夢古道の湯」

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上がり後もポカポカです。

開館時間	10:00~21:00
入浴料(平日)	一般 650円 65歳以上 550円 4歳~小学生 300円 3歳以下 無料
入浴料(土日祝)	一般 700円 65歳以上 600円 4歳~小学生 300円 3歳以下 無料



「夢古道おわせ」に関するお問い合わせは TEL.0597-22-1124



お車で越しの方は...

尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルピオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分) ※尾鷲南ICからは約8分

電車で越しの方は...

JR尾鷲下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター」下車

熊野古道センターからのてがみ 2020年 秋号

- 発行日:2020年9月10日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター(三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:小島
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索
ホームページ <https://www.kumanokodocenter.com/>
60000200910RK

三重県立熊野古道センター

The Letter from Mie Prefecture Kumano Kodo Center からのてがみ

2020 秋 No.56

煙突の



昭和30年代

見える風景

昭和39(1964)年に運転を開始した尾鷲市の火力発電所。建設を指揮した当時の中部電力発電所副社長三田民雄氏にちなんで「三田火力発電所」と呼ばれ、高度経済成長期以降の電力需要に応じてきた。しかし、平成30(2018)年12月にその役目を終え、令和2(2020)年には高さ230mの煙突は姿を消すこととなった。さて、今回はその火力発電所とその周辺景観の変遷を写真で懐古してみたい。瞳に映った煙突はまもなく消える。



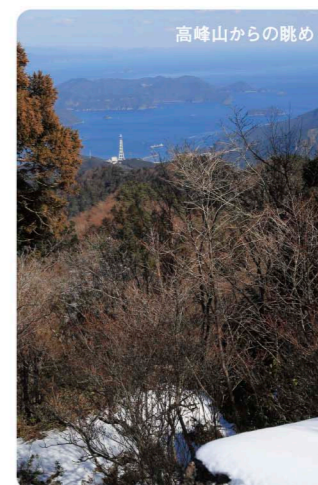
平成30年



矢所峠付近からの眺め



沓の坂からの眺め



高峰山からの眺め



向井山付近からの眺め

旬の企画展

企画展 尾鷲市 写真で懐古 故郷の暮らしと風景

明治時代以降の尾鷲町および周辺浦村が歩んできた人々の営みとそれを取り巻く街の景観や自然風景を撮影した写真を紹介し、尾鷲を懐古します。

2020 **10/24(土)・11/23(日)** ●会期中無休

時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室



尾鷲市制祝賀 昭和29年



大鷲館通り 昭和9年



特別展示室企画展 伊藤潤一 書作展

創作活動をはじめ、店舗看板やパッケージデザインなど、様々な分野とのコラボレーションの他、個展やトークライブなど、次々と活動の幅を広げている三重県出身の書家・アーティスト、伊藤潤一氏の書作展を開催します。



2020 **9/12(土)・11/8(日)**

●会期中無休

時間 午前10時～午後5時
入場料 無料
場所 特別展示室

次回企画展予告 (お楽しみに!)

企画展 聖ヤコブへ続く巡礼の道
ロビー展 バスクの道写真展
2020年12月5日(土)～2021年1月31日(日)

特別展示室 企画展 熊野の廃校 須賀利の町が輝いていた!

全人口200人、65歳以上の高齢者が85%をしめる尾鷲市須賀利町。約20年前に学校がなくなった町です。今から数十年前は小学生だけでも200人を超え、須賀利全人口も1000人以上いた活気のある町でした。そんな時代を振り返り、「地域と学校」の展示を予定しています。

2020 **11/21(土)・2021/1/17(日)**

●12/31(木)、1/1(金)は休館

時間 午前10時～午後5時
入場料 無料
場所 特別展示室



須賀利巡航船のラスト運航

講座・講演

参加料 500円(資料代・保険代含む)
●別途バス代200円必要

定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)

対象 小学生以上
(小学3年生以下は保護者同伴)

講師 宮本秀男
(熊野古道センター副センター長)

受付 9月19日(土) 午後5時まで



講座・講演

連続講座

初心者のための山歩き入門

小中学生や山歩き初心者の方、登山のスキルアップを目指す方のための山歩き入門講座を開催します。

2020 **10/3(土)** 午前10時～午後3時
熊野古道センター体験学習室

2020 **10/10(土)** 午前8時～午後2時30分
通り峠道、風伝峠道(少雨実施)



風伝峠道

秋季



新熊野学講座 (全3回)

第1回テーマ 新宮水野家と熊野

2020 **10/18(日)**

時間 午後1時30分～午後3時30分

講師 和田利信氏
(熊野市文化財専門委員)

参加料 無料

定員 40名(要申込・先着順)

場所 映像ホール

受付 9月10日(木)～10月17日(土) 午後5時まで

熊野古道やその周辺地域の歴史・文化・民俗などについて、総合的に学ぶ講座を開催します。関心のある講座を選んで受講することができます。●連続講座ではありません。

第2回テーマ 古文書と尾鷲の林業

2020 **11/3(火)**

時間 午後1時30分～午後3時30分

講師 濱中良平氏
(濱中林業九代目)

参加料 無料

定員 40名(要申込・先着順)

場所 映像ホール

受付 10月1日(木)～11月2日(月) 午後5時まで

第3回テーマ 尾鷲つれづれ噺

2020 **12/6(日)**

時間 午後1時30分～午後3時30分

参加料 無料

定員 40名(要申込・先着順)

場所 映像ホール

講師 甲斐崎圭氏(作家)

受付 11月1日(日)～12月5日(土) 午後5時まで

スタッフコラム

伊勢型紙彫型画 実演、体験教室

6月21日(日)伊勢型紙彫型画作品展の関連イベントとして、伊勢型紙彫型画会会長の犬杉華桜氏による「手彫り実演&フリートーク」と体験教室「伊勢型紙でつくるミニ色紙&しおり」を開催しました。

手彫り実演では、講師の手元を大型スクリーンに映し出し、伝統の技をじっくりご覧いただきました。体験教室では、県内各地から18名の方が参加され、花や昆虫のデザインを丁寧に彫り、ミニ色紙としおりの2作品を作ってくださいました。このイベントを通じて、伊勢型紙の魅力や制作の楽しさを体感していただけたようでした。



体験教室



手彫り実演

伊藤潤一 書作展

9月12日(土)から開催の特別展示室企画展「伊藤潤一書作展」では、今年8月に熊野古道馬越峠道で制作された書作も展示されます!制作当日は熊野古道センタースタッフも同行させていただきました。真夏の熊野古道、力強い筆使いで書きあげられた作品は大迫力でした!ぜひ会場でご覧くださいね!



馬越峠道にて制作中

ぜひ会場でご覧くださいね!

制作風景

イベント情報

交流イベント

初めての音楽会 0歳から楽しむコンサート

子ども(幼児)から大人まで楽しむことのできる曲を中心に、ピアノとフルートによる演奏とソプラノの歌声でお贈りする1時間のミニコンサートを開催します。

2020 **11/1(日)**

時間 午後2時～午後3時

出演 竹内雅美氏(ソプラノ)
安澤未咲氏(フルート)
庵野智子氏(ピアノ)

受付 9月20日(日)午前9時～



自然学校 海浜植物を学ぼう

紀北町大白公園を周回する遊歩道や海岸を散策しながら、自生する海浜植物の分類や名前の由来、その生態について学びます。



アケボノソウ

2020 **9/27(日)**

時間 午前10時～正午

参加料 500円(資料代・保険代含む)

定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)

対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

場所 紀北町東長島 大白公園

講師 山本和彦氏
(三重自然誌の会会員)

受付 9月19日(土)午後5時まで

自然学校 探鳥会 身近な野鳥を学ぼう!

紀北町東長島にある汽水池、片上池の周辺で身近に見られる野鳥を観察しながら、分類・生態について学びます。

2020 **10/10(土)**

時間 午前10時～正午

参加料 500円(資料代・保険代含む)

定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)

対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

場所 紀北町東長島 片上池遊歩道

講師 森 俊哉氏
(環境アセスメント士(自然環境部門))

受付 10月3日(土)午後5時まで

自然学校 紀伊半島の小動物を学ぶ

自然豊かな紀伊半島に生息するコウモリやサンショウウオなどの小動物を観察し、その生態を学びます。



小動物観察

2020 **11/14(土)**

時間 午前9時～正午

参加料 500円(資料代・保険代含む)

定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)

対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

場所 矢ノ川峠(旧国道)

講師 清水善吉氏
(三重県文化財保護指導委員)

受付 10月1日(木)～11月7日(土) 午後5時まで

知られざる熊野探訪ツアー

伊勢路最後の峠 万才峠と中辺路・小雲取越を歩く

伊勢路最後の峠である万才峠から中辺路小雲取越を歩き、熊野三山の首座、熊野本宮大社大高原を目指します。

2020 **10/11(日)**

時間 午前8時～午後3時

参加料 500円(資料代・保険代含む) ●別途バス代800円必要

定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)

対象 健脚者向

場所 万才峠・小雲取越(志志～熊野本宮大社大高原)

案内人 西浦康代氏(新宮市観光ガイドの会)

受付 9月27日(日)午後5時まで

九木崎の森を歩く 魚見小屋、遠見番所を訪ねて

尾鷲市九鬼町より九木崎に向かい、かつて魚群や外国船を見張るために使われていた魚見小屋、遠見番所などの史跡を巡ります。

2020 **11/7(土)**

時間 午前9時～午後3時30分

参加料 500円(資料代・保険代含む)

定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)

対象 健脚者向

場所 尾鷲市九鬼町～九木崎

案内人 内山佳和氏(日本山岳ガイド協会認定登山ガイド)

受付 10月24日(土)午後5時まで

須賀利まちなか探訪 昭和の漁村を歩く

尾鷲市の飛び地である須賀利町は尾鷲市街とは海を挟んで向かい合っており、かつては巡航船が主な交通手段でした。昔ながらの漁村風景が残る須賀利のまちを歩き、ゆったりとした時間を過ごすツアーです。

2020 **11/29(日)**

時間 午前9時～午後2時

参加料 500円(資料代・保険代含む)

定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)

場所 尾鷲市須賀利町

受付 10月15日(木)～11月15日(日) 午後5時まで

体験教室

日曜わくわくものづくり体験

東紀州で活躍中の木工職人や工芸家を講師に、毎週日曜日に開催している体験教室です。講師は週替わり、事前申込不要で、小さなお子様から大人まで気軽に楽しんでいただけます。

時間 午後1時～3時受付

参加料 300円～ ●体験によって異なります。

場所 交流棟大ホールまたは展示棟ホール

●詳しくは熊野古道センター ホームページでご確認ください。

月ごとにテーマを替えて開催中!!

アーカイブ企画展

過去に開催した企画展を1ヶ月ごとにパネル展示し振り返る企画展です。

2020 **11/1(日)**

時間 午前9時～午後5時

入場料 無料

場所 交流棟小ホール

和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター

住所 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1

TEL 0735-42-1044

FAX 0735-42-1560

E-mail e0624002@pref.wakayama.lg.jp

真夏の厳しい日差しも和らぎ、秋の気配が感じられる季節となりました。世界遺産は顕著な普遍的価値を持ち、「人類共通の宝物」と言われます。世界遺産を通して人々が交流し、文化や価値観の多様性を認識し合うことにより平和かつつながることが大切です。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用のための事業で、毎度紹介している「参詣道保全活動(道普請)」と「世界遺産セミナー」ですが、本年度は新型コロナウイルスの影響により一度も実施出来ておりません。道普請は9月以降、参加人数を制限(10～20名)するなど感染予防を徹底して行います。10月からは次世代育成事業として、和歌山県下から応募いただいた中高20校を対象に世界遺産学習を実施します。

夏以降、熊野古道を歩かれる方も徐々に増えてきました。「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録された大きな理由として、「神仏習合」と「文化的景観」が挙げられます。すべてを受け容れる大地に身を預け、悠ろの時を超え受け継がれた自然と人間の営みを体感してはいかがでしょうか。